

# BUSINESS REPORT

## 第4期 株主通信

2021年1月1日～2021年12月31日

証券コード：4392

### 代表挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、当社グループはストックビジネスへのシフトを加速することを事業の重要テーマとして掲げて、既存のフロー＆ストック(モノ売りからのサービス展開)のビジネスモデルから月額定額制のサブスクリプションモデルを推進してきました。

2021年12月期は、ペイメント関連サービスが他のサービス導入を牽引するとともにストックビジネスの拡大により業績は好調に推移し、売上高は12,264百万円、営業利益は566百万円とそれぞれ期初予想を上回ることができました。

特にストックビジネスは、四半期単期の売上高が10億円を突破し、2021年12月をベースにしたARRは40.9億円と拡大しております。

そして、2022年は特別な年です。

2002年に現在のグループ会社であるモバイルクリエイト株式会社を設立し、ちょっと先の未来を想像してシステム開発というモノづくりに励んできました。

おかげさまで、2012年には株式上場、その後、グループも拡大したことからグループ間シナジーを目的に2018年に経営統合、FIGを純粋持株会社とした現在のグループ体制に移行しました。

2022年は、創業してから20周年、新規上場をしてから10周年、そして東京証券取引所の市場区分の見直しにより、本年4月にプライム市場に移行します。

2024年を最終年度とした中期経営計画では、企業価値「倍増への挑戦」をテーマに掲げ、新たな成長ステージに



代表取締役社長 **村井 雄司**

向けた取組みを実施してまいります。

「事業投資・人的投資・資本政策・IR・ESG」の5つの成長投資を軸にして、持続的な成長を目指します。

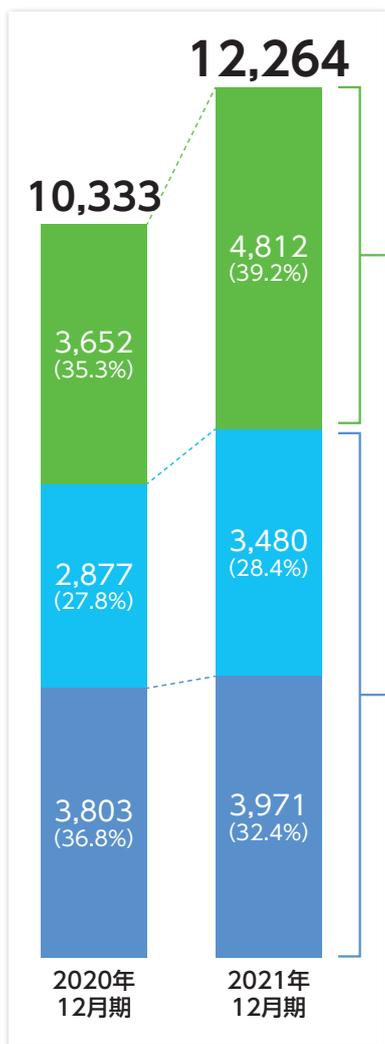
当社グループの基盤事業(IoT×SaaS)は、IoTデバイスをゲートウェイとしてクラウドに繋ぎ、データ活用によるソフトウェアサービスです。更なる成長を実現するために、新たな成長基盤の確立として、基盤事業(IoT×SaaS)の拡大とともに成長事業(ペイメントとロボット)への積極投資に取り組んでまいります。

当社グループは、Society 5.0「デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会課題を解決し、価値を創造する社会」による未来を創造しています。Society 5.0の実現に向けて、IoT分野において社会と人の役に立つことが、FIGグループの使命であり、笑顔が溢れる持続可能な社会の実現に貢献します。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 事業の概要

## 売上区分別実績(百万円)



### 装置等関連事業

売上高 **4,812**百万円 営業利益 **290**百万円

大型の装置案件などで売上高が回復し、前連結会計年度のように新規開発段階での赤字案件が無くなったことから、利益についても黒字転換となりました。この結果、外部顧客への売上高は、4,812百万円(前年同期比31.8%増)、営業利益は290百万円(前年同期は695百万円の営業損失)となりました。

### 情報通信事業

売上高 **7,452**百万円 営業利益 **961**百万円

#### フロービジネス

売上高 **3,480**百万円

#### ストックビジネス

売上高 **3,971**百万円

ペイメント関連が好調で他のサービス導入を牽引するとともに、ストックビジネスの拡大により業績は好調に推移しました。この結果、外部顧客への売上高は、7,452百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益は961百万円(同8.3%増)となりました。

### 新規事業

主にマンション等の不動産賃貸事業であり、当連結会計年度末時点では該当の賃貸用マンションを建設中のため、当連結会計年度の収益計上はありませんが、経費が先行して計上されたことにより営業損失は5百万円となりました。

## TOPICS

### 1

## IoT×SaaS事業(ストックビジネス売上高の推移)

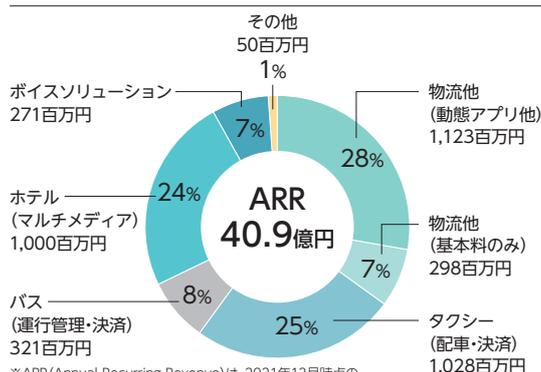
月額契約サービスの契約件数は約21万件となり、ストックビジネスの売上高は順調に拡大しています。動態アプリ・音声・配車・運行管理・決済・マルチメディアなどのサービスを提供しており、これら全てがインターネットに繋がり、クラウドには様々なビッグデータが蓄積されています。

近年、月額定額制のサブスクリプションモデルを推進し、

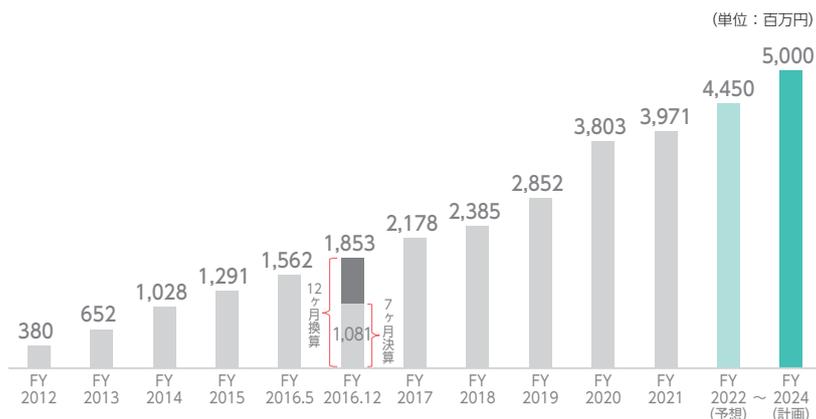
2021年12月をベースにしたARRは40.9億円となり、中期経営計画の最終年度であるFY2024にはストックビジネスの売上高50億円突破を目指しています。

当社グループの成長を支える基盤事業として更なる拡大を目指してまいります。

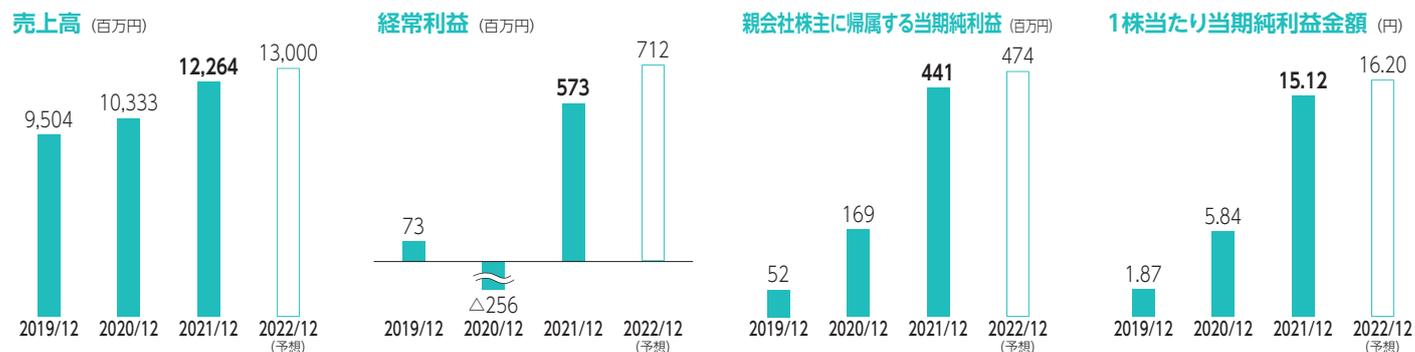
ストックビジネス売上高の内訳 (2021年12月時点)



※ARR(Annual Recurring Revenue)は、2021年12月時点のMRR(Monthly Recurring Revenue)を12倍にして算出。



	2019/12	2020/12	2021/12
<b>業績データ(百万円)</b>			
売上高	9,504	10,333	12,264
経常利益または損失(△)	73	△256	573
親会社株主に帰属する当期純利益	52	169	441
<b>財務データ(百万円)</b>			
総資産	13,177	15,294	18,971
流動資産	8,450	8,461	9,846
固定資産	4,726	6,833	9,125
負債	5,175	6,983	10,093
流動負債	2,796	4,725	7,068
固定負債	2,378	2,257	3,024
純資産	8,002	8,311	8,878
<b>キャッシュ・フロー(百万円)</b>			
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,289	412	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296	△1,813	△2,523
財務活動によるキャッシュ・フロー	△863	1,700	2,513
現金及び現金同等物の期末残高	2,021	2,318	2,376
<b>1株当たりデータ(円)</b>			
1株当たり純資産額	274.46	280.05	298.42
1株当たり当期純利益金額	1.87	5.84	15.12



## TOPICS 2

### 株式会社匠との企業間連携

株式会社匠との間で資本業務提携契約を締結しました。匠は、純国産の自律搬送ロボットを展開するベンチャー企業であり、現在、国内大手製造メーカーなどへの導入フェーズに入っています。自律搬送ロボットの国内パイオニア企業として必要不可欠なメーカーへと成長する大きなチャンスをつかんでおり、当社グループと匠が提携することにより、5つの提携効果(①軽量化・小型化、②コストダウンと安全対策の両立、③上位システム連携、④群制御 AI・多台数の同時制御、⑤将来的なクラウド化)が得られると考えています。純国産の搬送用ロボットで国内トップシェアを目指す企業間連携です。



## TOPICS 3

### ペイメント事業

好調なペイメントサービスは、タクシー決済システムと沖縄地域マネー「OKICA」を中心としたサービスを展開してきました。政府のキャッシュレス方針や新型コロナでの非接触のニーズも高まり、今後更なる成長が見込めます。得意とする公共交通分野では、ポイントシステムやモバイルチケットなど積極的な開発をすすめており、バスにおける決済サービスやODデータ(乗降人員カウント)活用などサービス拡大の大きなビジネスチャンスとして捉えています。



地域マネー

OKICA累計発行枚数  
47万枚

SmartOKICA (QRコード決済)



# 想像と技術と情熱で 快適な未来を創造

## 会社概要 (2021年12月31日現在)

商号	FIG株式会社 (英文) Future Innovation Group, Inc.
本社	〒870-0823 大分市東大道二丁目5番60号 TEL.097-576-8730(大代表)
代表者	代表取締役社長 村井 雄司
会社設立	2018年7月2日
資本金	2,012百万円
事業内容	子会社等の経営管理及びそれに付帯または関連する業務
グループの事業セグメント	情報通信事業及び装置等関連事業
グループ従業員数	687名(連結)
上場市場	東京証券取引所市場第一部 福岡証券取引所本則市場
グループ会社	モバイルクリエイイト株式会社 株式会社石井工作研究所 株式会社ケイティーエス ciRobotics株式会社 株式会社オプトエスピー 株式会社プライムキャスト 株式会社CAOS 沖縄モバイルクリエイイト株式会社 株式会社トラン 株式会社M.R.L Mobile Create USA, Inc. InfoTrack Telematics Pte. Ltd.

## 役員 (2022年3月29日現在)

代表取締役社長	村井 雄司	取締役(常勤監査等委員)	森本 昌章
取締役	岐部 和久	取締役(監査等委員)	山田 耕司
取締役	阿知波 孝典	取締役(監査等委員)	渡邊 定義
		取締役(監査等委員)	大呂 紗智子

## 株主メモ

上場市場	東京証券取引所市場第一部 福岡証券取引所本則市場
証券コード	4392
1単元の株式数	100株
事業年度	毎年1月1日から12月31日までの1年
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の  
お手続きが必要となります。  
速やかにお取引の証券会社等へお届けください。

## 株式の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	31,176,015株
株主数	18,799名

## 大株主 (2021年12月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
村井 雄司	4,288	13.75
イノベーション株式会社	3,000	9.62
モバイルクリエイイト株式会社	1,917	6.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,717	5.51
FIG従業員持株会	1,168	3.74
フューチャー株式会社	1,000	3.20
株式会社大分銀行	600	1.92
青木 義行	400	1.28
株式会社インターネットイニシアティブ	400	1.28
第一交通産業株式会社	400	1.28

(注) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。

## 株式分布状況 (2021年12月31日現在)

### 所有者別所有株式数割合



### 所有数別株主数割合



同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL: 0120-782-031 (通話料無料)

電子公告により行う。  
ただし電子公告によることができない事故その他  
やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞  
に掲載して行う。

### 公告掲載方法

公告掲載URL <http://www.figinc.jp/>

## 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められた通り、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、  
税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】 ●配当金に関する支払調書

●単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書